

## 収容率及び人数上限の緩和を適用する場合の条件

大声での歓声・声援等がないことを前提としたイベントや活動で、必要な感染防止対策が担保されている場合に、新たな目安（収容率及び人数上限の緩和）を適用することとし、それ以外の場合は、従来の目安（5,000人以下、かつ収容定員の50%以内）を原則とする。

### 1 イベント、活動の内容（名称や種類、参加者数、歓声・声援等の度合いなど）

### 2 制限緩和に伴うリスクを軽減するための措置

リスクを軽減するための措置	チェック欄
(1) 消毒の徹底（感染リスクの拡散防止）	<input type="checkbox"/>
(2) マスク着用の担保（感染リスクの拡散防止） ・マスクを持参していない者がいた場合は主催者側でマスクを配布し、着用率100%を担保	<input type="checkbox"/>
(3) 参加者及び出演者の制限（感染リスクの拡散防止） ・有症状者の出演・入場を確実に防止する措置の徹底 －会場での検温の実施 ※受付で非接触型体温計の貸出し有 －有症状の出演者は出演・練習を控えること －主催者が受講料、入場料等の払い戻し措置等を規定しておくこと	<input type="checkbox"/>
(4) 参加者の把握（感染リスクの拡散防止） ・事前予約時又は入場時に連絡先を確実に把握すること ・接触確認アプリ（COCOA）のダウンロード促進や岐阜県感染警戒QRシステムの活用等の具体的措置を講じること ※受付で岐阜県感染警戒QRコードをお渡しできます	<input type="checkbox"/>
(5) 大声を出さないことの担保（大声の抑止） ・大声を出す者がいた場合、個別に注意、対応等ができるよう体制を整備（人員を配置する等） －隣席の者との日常会話程度は可（マスクの着用が前提） －演者が歌唱等を行う場合、舞台から観客まで一定の距離を確保（最低2m）	<input type="checkbox"/>
(6) 密集の回避（イベントの入退場や休憩時間における三密の抑止） ・入退場列や休憩時間の密集を回避する措置（人員の配置、導線の確保等）や十分な換気 ・休憩時間中及びイベント前後の食事等での感染防止	<input type="checkbox"/>
(7) 演者・観客間の接触・飛沫感染リスクの排除 ・演者等と観客が催物前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じるとともに、接触が防止できないおそれがあるイベントについては開催を見合わせる	<input type="checkbox"/>
(8) 催物前後の行動管理（交通機関、イベント後の打ち上げ等における三密の抑止） ・公共交通機関・飲食店等での密集を回避するために、交通機関・飲食店等の分散利用を注意喚起	<input type="checkbox"/>

#### <リスク軽減措置の補足説明記入欄>